

I. 事例集作成にあたって

1. 目的

新水道ビジョンでは、重点的な実現方策を「関係者の内部方策」「関係者間の連携方策」「新たな発想で取り組むべき方策」に分類し、このうち「関係者間の連携方策」の一つとして「発展的広域化」を提唱している。また、その記述内容としては、「①近隣水道事業者との広域化の検討を開始」、「②次の展開として広域化の取り組み推進」、「③発展的な広域化による連携推進」というように、広域化を推進するための手順を示している。

本事例集は、広域化が実現した事例及び検討中の事例を調査し、現在広域化を考えているあるいは考えつつある事業者に対して、今後の広域化実施に資することを目的に作成した。

2. 内容

事例集の作成にあたっては、まず、都道府県に対して、都道府県内の事業者における平成元年以降の広域化事例及び広域化に向けた検討事例について調査し、実態を把握した。その中から、事業統合を実施している及び検討している事業者等に対して、事業統合の主たる理由、事業統合の検討主体、事業統合に至るまでの検討経緯、事業統合を進める中で生じた課題とその解決策、事業統合の成功要因、事業統合までに行った広域化メニュー、事業統合後のメリットとデメリットなどについてアンケート調査を行ない、事例集としてとりまとめたものである。

掲載した事業者等の内訳は、事業統合実施済の事業者 12 団体、事業統合検討中の事業者等 10 団体である。